



平成28年第1回定例記者会見

日時：平成28年4月20日（水）11：00～12：00

場所：豊橋技術科学大学 事務局3階 大会議室

<記者会見項目予定>

- ① 大西プラン2016策定
【大西 隆 学長】
(別紙1参照)
- ② 「技術科学イノベーション研究機構」の設置
【副学長(研究担当)/技術科学イノベーション研究機構長 寺嶋 一彦 教授】
【副学長(研究力強化担当)/技術科学イノベーション研究機構副機構長
原 邦彦 特定教授】
(別紙2参照)
- ③ 社会連携推進センター・高専連携推進センターを設置しました
【副学長(IR担当)/社会連携推進センター長 井上 隆信 教授】
【学長特別補佐(高専連携担当)/高専連携推進センター長 若原 昭浩 教授】
(別紙3参照)
- ④ 大学キャンパス内にいながら国際生活を！
日本人学生と留学生が一緒に生活するシェアハウス型の学生宿舎を建設します
【スーパーグローバル大学創成事業推進室長 高嶋 孝明 教授】
(別紙4参照)
- ⑤ 平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰に本学教員2名が受賞しました
【H28 文部科学大臣表彰 科学技術賞 国際交流センター長 大門 裕之 教授】
【H28 文部科学大臣表彰 若手科学者賞
環境・生命工学系／エレクトロニクス先端融合研究所 広瀬 侑 助教】
(別紙5参照)

<本件連絡先>

総務課広報係 萩平・高柳・梅藤
TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



<別紙 1>

国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

平成28年4月20日

大西プラン 2016 策定

豊橋技術科学大学の進むべき道を学長が明確に示し、本学構成員が共有し、学外にも本学の挑戦を積極的に配信する短期の活動指針として、大西プラン 2016 を策定しました。

昨年度大西プラン 2015 を作成し、大学を取り巻く状況を見極めながら、毎年見直しを行うものです。

骨子については前年度のものを引き継ぎ、昨年度までの進捗を踏まえるとともに、新たに今年度迎える開学 40 周年、今年度からの第 3 期中期目標・中期計画期間開始に伴い整備した学内組織、グローバルキャンパスの拠点とする附属図書館改修などの内容を見直しました。

詳細については、定例記者会見当日、大西学長よりご説明いたします。

大西プラン2016 世界に通ずる技術科学を目指して ―豊橋技術科学大学の挑戦―

本学は、主に高等専門学校卒業生及び高等専門学校卒業生等を入学者として受け入れ、技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学園、技術科学の教育・研究を使命とします。この使命のもと、大学院に重点を置き、実践的、創造的かつ指導的技術者・研究者を育成するとともに、次代を切り拓く技術科学の研究を行い、世界に開かれたトップクラスの工学系大学を目指します。

5つの挑戦

- 多文化共生・グローバルキャンパスの実現
国籍、民族、性別を超えて、皆が学び合う豊かなキャンパスを実現します
- 技術科学によるイノベーション創出人材育成
技術者を育てるとともに、技術を支える科学を探究することにより、イノベーションを創出できる人材を育成します
- 融合研究を軸とした研究力強化
オープンアブレーション方式による産学連携により、融合研究力を強化します
- 安全・安心な社会の形成に資する知・技術の創出
世界の人の生活を豊かにするための新しい知・技術を創出します
- 研究者の継続性と流動性の促進
研究者の継続性と流動性を促進することにより、活力ある研究体制を構築します

推進する活動

教育の展開

- 長期インターンシップを特徴とし、高等教育と連続して基礎と専門を積み上げる「スーパーグローバル大学創成支援事業」による「グローバル技術科学アカデミー」の創設
- 国立大学強化推進事業による「グローバル教育拠点・ハイリミット」の創設
- 産学官の連携によるグローバル教育の推進
- リベラルアーツ教育の充実による人間力の強化
- 高等コアカリキュラムと接続するカリキュラム整備

高専との連携

- 高専教育と連携した「点」から「線」への入社の実施
- 「高専連携推進センター」を設置し、高専との多様な交流・連携・協働事業をさらに強化
- 教員の研修、教育課程の改善、高専卒業生の継続教育などの有形的連携

世界展開・連携

- 交流協定締結大学・機関との積極的・継続的交流の推進
- 学生の交流、国際共同研究、国際的なグローバル人材育成
- 外国卒業生のフォローアップと海外研究会などのネットワーク強化

研究の展開

- 「技術科学イノベーション研究機構」を設置し、先端融合研究分野や学際的技術分野の研究を推進
- 先進共同研究ラボラトリーによる世界トップクラスの研究の推進
- 学内公募の「イノベーション協働研究プロジェクト」を立ち上げ、社会実装・社会実用に関する研究を推進
- 研究推進アミニステーションセンターによる研究力強化
- 研究力強化のための全教員の研究力の向上
- 技術科学の国際拠点の形成

産学連携

- 異分野融合イノベーション研究の推進
- 産学連携強化などに貢献する応用研究の推進

社会との連携

- 「社会連携推進センター」を設置し、地方創生・社会貢献をさらに推進
- 職業実践力育成プログラムの実施など、産で得た知識を「地域の未来」創生に貢献

組織の運営

- ガバナンス機能の強化
- 教育研究組織の最適化、アウトリーチ型大学運営への改革
- 教員の教育研究意欲を高める年功制度・職制制度の導入
- 40周年記念事業を目的とした有償の受け入れによる基金の拡充
- 教育共同研究アクションプランの実現と外国人教員の積極的採用

教育研究、学生支援環境の整備

- キャンパスの国際化、グローバル学生生活の創設
- 設備・キャンパス・システム・ソフトウェア等に関する設備環境の整備
- 学生・教員の多様なニーズに応じた教育環境、福利厚生環境の整備
- 心と体の健康を推進し、豊かなキャンパスを実現
- 附属図書館を改修し、多文化共生・グローバルキャンパスの拠点として整備

研究不正、研究費不正使用への対応

- 研究不正、研究費不正使用等に関するガイドラインへの対応
- 教員、学生に対する研究倫理教育の実施、充実

父母・同窓生との連携

- 本学情報発信の継続的提供とサポート体制の充実
- 父母・同窓生が本学の発展に力を貸し、活発な交流の場となるキャンパスの実現

豊橋技術科学大学は、文部科学省が推進する大学改革に伴う各種プログラムに積極的に挑戦し、「国立大学改革推進事業」、「博士課程教育リーディングプログラム」、「研究大学強化推進事業」及び「スーパーグローバル大学創成支援事業」(グローバル化牽引型(タイプB))に選定され、グローバル化、本学教育の充実、研究力強化の一環の推進に取り組んでいます。

TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

大西プラン 2016

(参考) 本学 HP : <http://www.tut.ac.jp/about/charter.html#anc02>

本件に関する連絡先

担当者 学長戦略企画課 菅谷 TEL:0532-44-6533

広報担当: 総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

大西プラン2016

世界に通ずる技術科学を目指して — 豊橋技術科学大学の挑戦 —



本学は、主に高等専門学校卒業生及び高等学校卒業生等を入学者として受入れ、技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とします。この使命のもと、大学院に重点を置き、実践的、創造的かつ指導的技術者・研究者を育成するとともに、次代を切り拓く技術科学の研究を行い、世界に開かれたトップクラスの工科系大学を目指します。

5つの挑戦

多文化共生・グローバルキャンパスの実現

国籍、民族、性別を超えて、皆が学び合う活気あふれるキャンパスを実現します

技術科学によるイノベーション創出人材育成

技術を修得するとともに、技術を支える科学を探究することにより、イノベーションを創出できる人材を育成します

融合研究を軸とした研究力強化

オープンアプリケーション方式による応用展開により、融合研究力を強化します

安全・安心な社会の形成に資する知・技術の創出

世界の人々の生活を豊かにするための新しい知・技術を創出します

研究者の継続性と流動性の促進

研究者の継続性と流動性を促進することにより、活力ある研究体制を構築します

推進する活動

教育の展開

- 長期インターンシップを特徴とし、高専教育と連続して基礎と専門を積み上げる「らせん型教育」の充実による技術科学力の強化
- スーパーグローバル大学創成支援事業による『グローバル技術科学アーキテクト』の養成
- 国立大学強化推進事業によるマレーシア教育拠点、バイリンガル授業の導入等によるグローバル教育の推進
- 産学官の参画による博士課程教育リーディングプログラム等の充実
- リベラルアーツ教育の充実による人間力の強化
- 高専コアカリキュラムと接続するカリキュラム整備

高専との連携

- 高専教員と連携した「点」から「線」への入試の実施
- 「高専連携推進センター」を設置し、高専との多彩な交流・連携・協働事業をさらに強化
- 教員の研修、教育課程の改善、高専卒業生の継続教育などの有機的連携

世界展開・連携

- 交流協定締結大学・機関との積極的交流の推進
- 学生の交流、国際共同研究、重層的なグローバル人材循環
- 外国人卒業生のフォローアップと海外同窓会などのネットワーク強化

研究の展開

- 「技術科学イノベーション研究機構」を設置し、先端融合研究創成分野や実践的技術分野の研究を推進
- 先端共同研究ラボラトリーによる世界トップクラスの研究の推進
- 学内公募の「イノベーション協働研究プロジェクト」を立ち上げ、社会実装・社会提言に繋がる研究を推進
- 研究推進アドミニストレーションセンターによる研究力強化
- 研究力強化のための全教員の研究力の底上げ
- 技術科学の国際拠点の形成

産学連携

- 異分野融合イノベーション研究の推進
- 産業競争力強化などに貢献する応用研究の推進

社会との連携

- 「社会連携推進センター」を設置し、地方創生・社会貢献をさらに推進
- 「職業実践力育成プログラム」の実施など、豊かで持続可能な「地域の未来」創生に貢献

支える環境

組織の運営

- ガバナンス機能の強化
- 教育研究組織の見直し、アウトリーチ型大学運営への改革
- 教員の教育研究意欲を高める年俸制度・報奨制度の導入
- 40周年記念事業を目的とした寄附金の受け入れによる基金の拡充
- 男女共同参画アクションプランの実践と外国人数員の積極的採用

教育研究、学生支援環境の整備

- キャンパスの国際化、グローバル学生宿舎の新設
- 設備・キャンパスマスタープランに基づく計画的環境整備の推進
- 学生・教職員の要望を積極的に取り入れた教育環境、福利厚生環境の整備
- 心と体の健康を増進し、明るいキャンパスを実現
- 附属図書館を改修し、多文化共生・グローバルキャンパスの拠点として整備

研究不正、研究費不正使用への対応

- 研究活動、研究費使用等に関するガイドラインへの対応
- 教員、学生に対する研究倫理教育の実施、充実

父母・同窓生との連携

- 本学情報の積極的提供とサポート体制の充実
- 父母・同窓生の方々が気軽に立ち寄り、活発な交流の場となるキャンパスの実現

豊橋技術科学大学は、文部科学省が推進する大学改革に伴う各種プログラムに積極的に挑戦し、「国立大学改革強化推進事業」、「博士課程教育リーディングプログラム」、「研究大学強化促進事業」及び「スーパーグローバル大学創成支援事業 グローバル化牽引型(タイプB)」に採択され、グローバル化、大学院教育の充実、研究力強化の一層の推進に取り組んでいます。



国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

「技術科学イノベーション研究機構」の設置

豊橋技術科学大学では、技術の進化を支える学理を解き明かし、そこから新たな革新的技術を再生産し、直面する社会的な課題の解決や、未来社会の創造につながる新たな価値を創造することによって人類社会の発展に貢献することを創設の理念としています。

この理念の高いレベルでの実現のために、①国内外のリーディング企業やトップ研究機関との強力な協働作業による、より先端のかつ革新的な研究の戦略的推進、②急速な進化を遂げつつある人工知能技術と融合した価値創造型の創発システム先導型研究の推進、③課題解決型社会システム研究の推進と提言を掲げ、既存のエレクトロニクス先端融合研究所と4つのリサーチセンターの研究活動に横串を通し、戦略的に研究を推進する「技術科学イノベーション研究機構」を設置しました。

【名称】

技術科学イノベーション研究機構

【設置日】

平成28年4月1日

【組織概要】

- ・ 戦略的研究部門
- ・ リサーチセンター
- ・ エレクトロニクス先端融合研究所



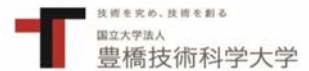
技術科学イノベーション研究機構では、下記に掲げる国の方針に呼应する形で、この機構の中に2つの国際共同研究ラボラトリーを設置しております。また、そのほかに、エレクトロニクス先端融合研究所と4つのリサーチセンターとを擁し、技術科学イノベーション・社会実装研究を進めていきます。

本件に関する連絡先

担当：研究支援課長(植松) 研究支援係 TEL:0532-44-6570、6982

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

技術科学イノベーション研究機構



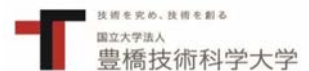
豊橋技術科学大学では、技術の進化を支える学理を解き明かし、そこから新たな革新的技術を再生産し、直面する社会的な課題の解決や、未来社会の創造につながる新たな価値を創造することによって人類社会の発展に貢献することを創立の理念としています。この理念を高いレベルで実現するため、特に

- ① 国内外のリーディング企業やトップ研究機関との強力な協働作業による、先端（融合）研究の推進
- ② 急速な進化を遂げつつある人工知能技術と融合した価値創造型の創発型システム研究の推進
- ③ 課題解決型社会システム研究の推進

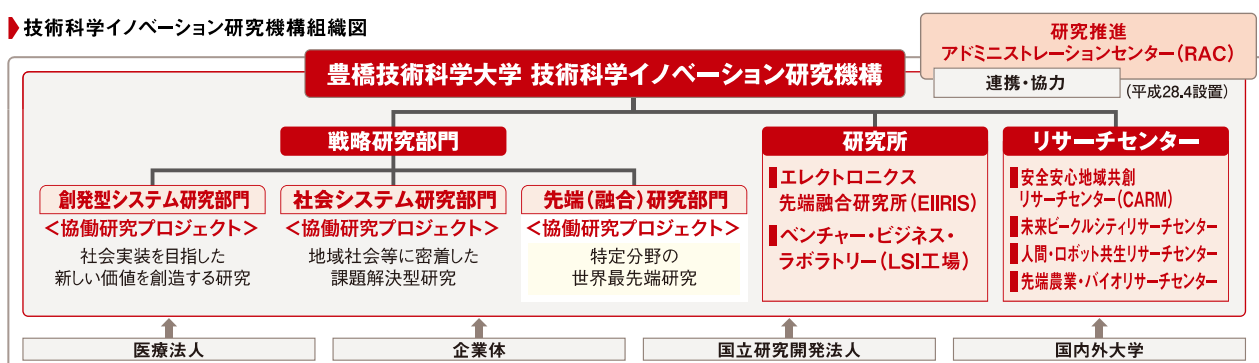
を掲げ、既存のエレクトロニクス先端融合研究所と4つのリサーチセンターの研究活動との間に横串を通し、オープンイノベーション実現に向け研究を推進する「技術科学イノベーション研究機構」を設置します。

1/4

全体組織構成



▶ 技術科学イノベーション研究機構組織図



組織の英語表記

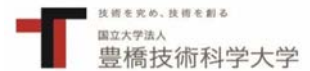
技術科学イノベーション研究機構 : Research Institute for Technology Innovation

戦略研究部門 : Department of Strategic Research

エレクトロニクス先端融合研究所 : Electronics Inspired Interdisciplinary Research Institute (EIIRIS)

リサーチセンター : Research Center (RC)

当該研究機構に配置する 学内公募「イノベーション協働研究プロジェクト」



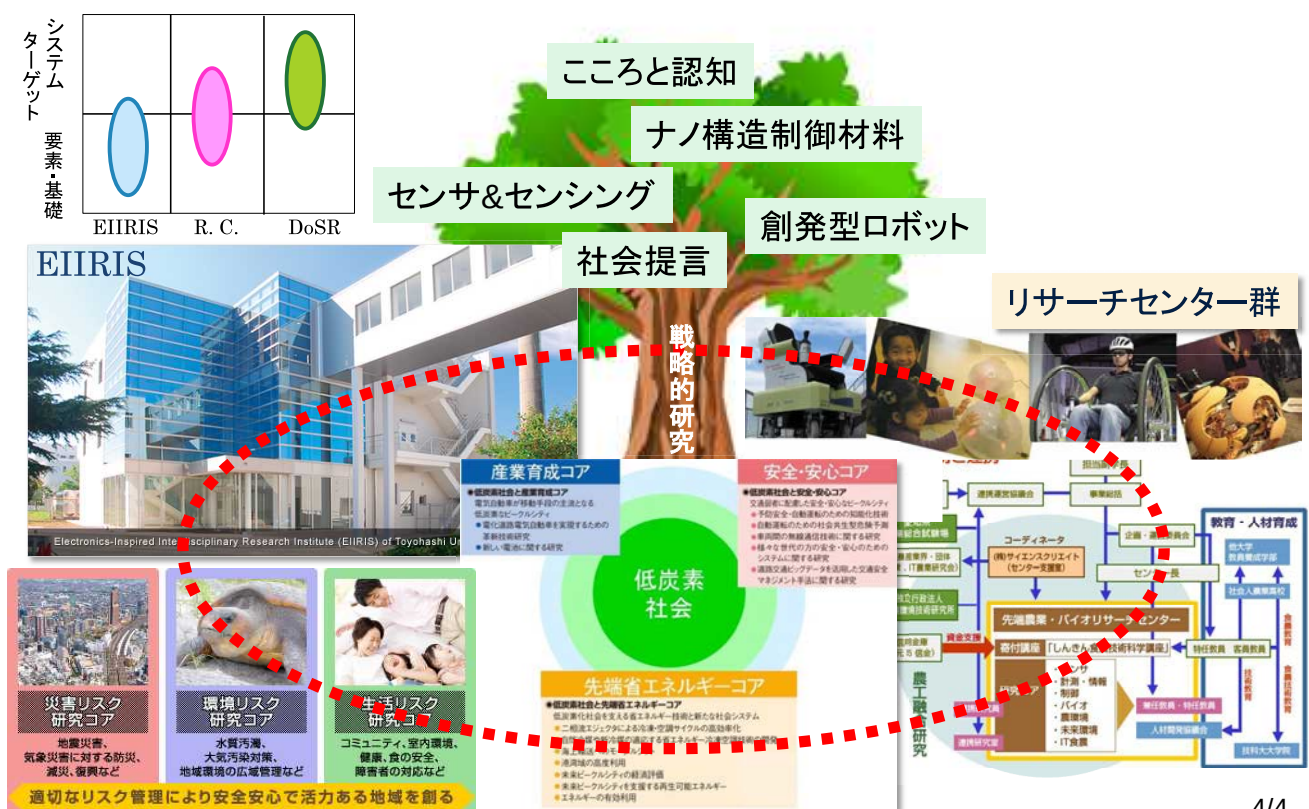
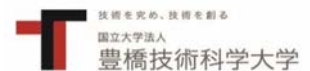
「技術科学イノベーション研究機構」の中で、国内外の研究機関や企業とマッチングファンド形式による高度の戦略的なイノベーション協働研究プロジェクトを推進し、特定分野の最先端を切り開くとともに、研究成果の社会実装・社会提言力を強化します。
機構の中に次の3つの戦略研究部門を置きます。

- ☆ **先端（融合）研究部門：特定分野の世界最先端研究・共同研究ラボ**
センサ&センシング、心と脳の科学、ナノ構造制御新材料など
- ☆ **創発型システム研究部門：人工知能・工学融合システムの研究**
進化するロボット、モーション制御、多言語機械翻訳など
- ☆ **社会システム研究部門：地域に密着した社会システム課題解決研究**
地震防災情報検知システム実装、資源循環システムなど

3/4

技術科学イノベーション研究機構 【活動コンセプト】

2016.04.20 定例記者会見資料



4/4



国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

平成28年4月20日

社会連携推進センター・高専連携推進センター を設置しました

豊橋技術科学大学では、技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とし、世界に開かれたトップクラスの工科系大学を目指すというビジョンを掲げています。

人材育成や地域課題を解決する取組などを通じて地域に貢献する取組を行うため、社会人の学び直し事業や教育プロジェクトを実施し、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的技術プログラムを提供し、地域発のイノベーション創出に貢献できる人材を育成することとしています。

また、高等専門学校からの学生を主な対象として、学部・大学院一貫教育により、優れた技術開発能力を備え、我が国の産業を牽引する高度な技術者、グローバル時代を切り拓く研究開発能力を有する先導的な人材を育成している本学の特色を生かすことは重要であります。

これらの実現のために、以下のとおり新しくセンターを設置しました。

【名称】

社会連携推進センター

【設置日】

平成28年4月1日

【主な取り組み】

- ・ 地域等の課題解決、高度技術者育成等につながる社会人向けの実践教育プログラム実施
- ・ 地域の教育・文化の向上に貢献するため、市民向け公開講座を実施



【名称】

高専連携推進センター

【設置日】

平成28年4月1日

【主な取り組み】

- ・ 高専と連携・協働した人材育成プログラムを強化し、グローバル化に対応した実践的技術者を養成
- ・ 高専を卒業した現役社会人の学び直しプロジェクトの企画・推進



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

社会連携推進センターの設置

University-Community Partnership Promotion Center

社会連携推進センター長 井上隆信



国立大学法人
豊橋技術科学大学

社会実装を志向したイノベーション人材の育成

～27年度

- 開学当初から「開かれた大学」として、一般市民向けのほか、社会人、企業人向け講座を開講
- 法人移行時（平成16年）に設置した地域連携室を発展的に改組し、平成24年4月社会連携推進本部を設置；本学が地域・社会の諸課題に対して、大学の知を結集して今まで以上に積極的に取り組む姿勢を明確化
- 平成26年10月東三河地域の産学官で組織した「社会人キャリアアップ連携協議会」の設立・連携
- これまで、地域と産業界等のニーズに応えるために、大学院教育プログラムや社会人学び直し事業等を推進

28年度～

- 社会連携推進センターを新設し、地域・産業界等のニーズをより的確に捉えた社会人向け実践教育プログラムを開発
- 本学の実績ある教育シーズや最先端技術等を生かして、以下の2分野を設置
- 人材育成プログラムは、学内公募

想定する人材育成プログラム

社会連携推進センター

産業技術科学分野

- 次世代シミュレーション技術者育成コース
- LSI（集積回路）技術者育成コース
- 次世代シーケンサー解析コース
- ものづくり人材育成コース
- その他コース・・・

地域社会基盤分野

- 生命・環境工学技術者育成コース
- IT農業技術者育成コース
- 地域地震防災技術者育成コース
- その他コース・・・

- イノベーション創出に貢献できる人材を育成する
- 地域発の新たな成長分野を創出し、成長させる
- 自立運営基盤の強化を図り、原則、受講料を設定する

『イノベーション・ループ』の実現



地域・産業界の「ニーズ」
大学の「シーズ」
イノベーション人材の創出

本学が核となり
連携協働して
地域・産業界に
貢献

これまでの主な人材育成の実績

集積回路技術講習会	ゲノム分子生物学講習会
IT食農先端士養成プログラム	最先端植物工場マネージャー育成プログラム
次世代シミュレーション技術者教育プログラム	生命環境工学技術者教育プログラム
地域地震防災コース	技術者養成研修・技術セミナー

社会人キャリアアップ連携協議会



イノベーション・ループ

先端農業・バイオリサーチセンター

社会連携推進センター
(新設)

最先端植物工場マネージャ育成プログラム (H28.12~)

〈目的〉

豊橋技術科学大学等がこれまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえ、若者が定着する最先端施設園芸である植物工場の管理、経営ができるIT農業人材を育成し、農業と地域の活性化を図る。

〈年限〉

1年4ヶ月、1期10人

〈カリキュラム〉

- ◆先端基礎農学特論：教室講義
- ◆植物工場栽培管理学特論：E-Learning
- ◆光合成環境制御工学特論：E-Learning
- ◆植物工場経営管理学特論：E-Learning
- ◆先端施設研修：国内外の先端施設
- ◆課題解決技術科学研究：先端施設での実習と問題解決



協働
連携

連携機関

社会人キャリアアップ
連携協議会

地域自治体

愛知県
豊橋市 田原市
豊川市 新城市
蒲郡市 浜松市

(株)サイエンス・クリエイト

地域5信用金庫
東海農政局
JA愛知経済連
地元企業 など

資格認定

IT農業サポートセンター

フォローアップ

「植物工場管理経営士」「IT食農先導士」

IT農業ネットワーク

自然と共生する健康で豊かな地域社会の構築

国立大学法人
豊橋技術科学大学

地 域 と の 連 携
地域の自治体等と連携し、地域社会の活性化、教養・文化の向上を図る

地域社会との連携、協力

小中・高校への協力等

自治体等との連携、協力

- 東三河ビジョン協議会、三遠南信地域連携ビジョン推進会議、東三河地域防災協議会への参画
- 国土交通省中部地方整備局、愛知県、豊橋市、田原市、新城市、飯田市との連携協力

地域諸団体との連携

- サマーカレッジ・チャレンジショップ
- ものづくり博in東三河
- 地域関連研究発表会

大学等との連携

- 愛知大学、豊橋創造大学との連携協力
- あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク(名古屋大学)への参画

市民向け講座の実施

- 一般公開講座
- 豊橋市生涯学習市民大学トラム大学連携講座
- 社会人キャリアアップ人材育成プログラム

豊橋駅前サテライト・オフィスの運営

- サイエンスカフェの開催
- 研究成果の情報発信等

高校生向け実験・実習講座の実施

- 知の探究講座(愛知県教育委員会)
- TUTラボ(時習館SSH「地域SS豊橋技術科学大学講座」)
- TUT Jr.技術科学教育プロジェクト(時習館SSH「SS技術科学」)
- 時習館高校SSH事業、SGH事業
- 中高生の科学研究実践活動推進プログラム
- 原子力・エネルギーに関する教育支援事業
- 愛知県高等学校文化連盟情報講習会
- 東三河・浜松地区高大連携フォーラム(東三河・浜松地区高大連携協議会)
- ラーニングフェスタ(東三河・浜松地区高大連携協議会)
- 出前授業

小中学生向け実験・体験学習の実施

- Jr.サイエンス講座(子どものための科学展)
- 青少年のための科学の祭典
- 小柴記念賞への参画
- 豊橋市視聴覚センター実験講座
- 豊橋少年少女発明クラブ関連事業
- 出前授業
- 体験講座

小中学校、高校等への講師派遣

- 依頼機関等と学内教員(研究室)・学生団体等とのコーディネート

多くの仲間と一緒に
技術を究め、技術を創る
Towards Future Technology



高専連携推進センターの設置 KOSEN Liaison Center (KOSEN LinC)

高専連携推進センター長
若原昭浩

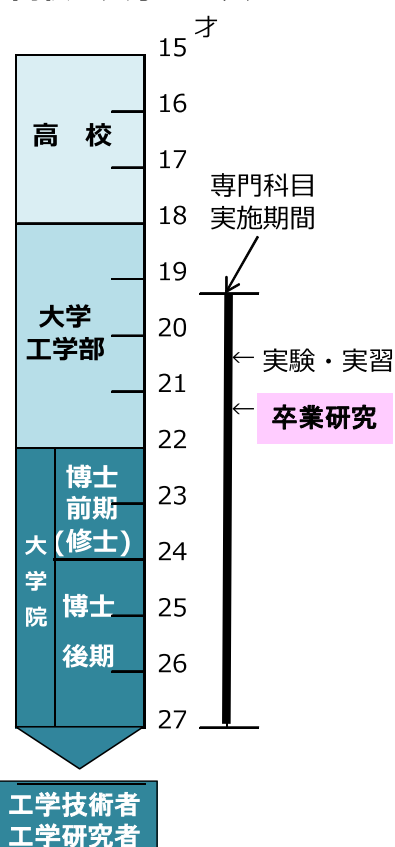
～Towards Future Technology～

国立大学法人
豊橋技術科学大学

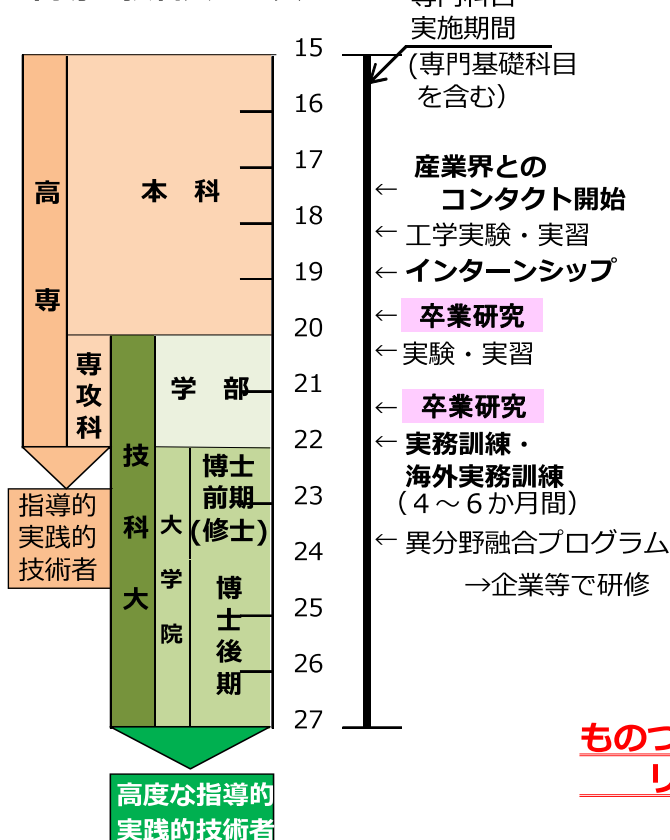


高専・技科大による“ものづくり”人材の育成の特徴

高校－大学コース



高専－技科大コース



ものづくりを意識した
系統的体験的学習

早期からの長期に渡る
ものづくり専門教育

らせん形教育(豊橋技科大)

ものづくりを支え、
リードする実践的技術者育成

国立大学法人
豊橋技術科学大学

これまでの経緯

- 開学当初から「高専との連携」、「産学連携」を推進。高専向けFD、SD活動、人事交流を実施
- 高専連携室（平成16年設置）により、高専との連携を強化。
- 平成24年から国立大学改革強化推進事業「3機関が連携・協働した教育改革」が開始

グローバル人材、
イノベーション人材
の育成

高専教育連携推進センター（2016.4.1設置） KOSEN Liaison Center (KOSEN LinC)

- ・高専連携室を機能強化
- ・共同研究・協働教育の機動的・弾力的実施



高専連携人材育成の実績 創設期～高専連携室まで

高専・技科大間人事交流

高専連携教育研究
プロジェクト

高専生体験実習

高専 技術職員特別研修会

高専ネットワークとの
連携・協働の強化

高専機構・国立高専
公立高専・私立高専

高専連携センターのミッション

- 高専から大学院までが協働したバトンゾーン指導によるG・I人材育成モデルの構築と展開
- 産・学・学協働による地域創発イノベーションの拡大
- 社会人への国際技術者資格獲得の支援体制の確立

国立大学法人
豊橋技術科学大学

高専連携センターのミッション

：高専と連携したグローバル技術科学人材の育成

- 高専から大学院までが協働した**高専→技科大**バトンゾーン指導によるグローバル・イノベーション人材育成モデルの構築と展開

体験実習制度による高専生の先端技術科学体得

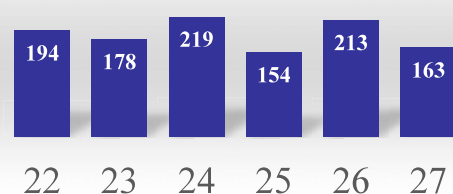
ペナン校を用いた高専生のグローバル実習の支援

- 地域産業界・学(高専)・学(大学)協働による地域創発イノベーションの拡大

- 社会人への国際技術者資格獲得の支援体制の確立
高専卒業生等の社会人教育プログラムの実装



体験実習受講者数



実学と理論に精通した技術科学者
産業界が求める博士人材の育成



平成28年4月20日

大学キャンパス内にいながら国際生活を！ 日本人学生と留学生と一緒に生活する シェアハウス型の学生宿舎を建設します

キャンパス内学生宿舎の充実とグローバル化

スーパーグローバル大学プロジェクトの一つの目玉として、グローバル社会で活躍する意欲を持つ日本人と外国人留学生と一緒に生活するシェアハウス型の学生宿舎を、キャンパス内に新たに建設します。収容人数は180名で、既存の学生宿舎600名と合わせて、多様な文化の食・住・学が近接共存する国際性に富んだ多文化共生エリアを造り出し、日本に居ながら国際生活を体感できる環境を整備し、大学キャンパス全体のグローバル化の核となることを意図しています。

この度、公募型プロポーザルを経て業者を選定し、具体的な建設プランが決定したため、定例記者会見にてその概要を公表いたします。

グローバル社会で活躍する意欲を持つ日本人学生と外国人留学生のために、学部・大学院(修士)一貫のグローバル技術科学アーキテクト養成コースを新設します。そのコース学生は全寮制を原則とし、日本人と留学生が生活を共にすることで世界に通用する人間力を養うことを目的とした、シェアハウス型の宿舎を建設するものです。2017年4月の第一期生受け入れに向けて、建設を進めて行きます。

- 1ユニット、5名の個室と共有のリビング・ダイニング・シャワールームのシェアハウス。
- 1棟3階建て30人収容の6棟と共有棟1棟を、民間資金を活用して建設・管理運用。
- 宿舎での学生生活を支援するハウスマスターが駐在、教職員と学生が共同して学習支援プログラムや課外イベントを企画実施。
- 共通語を英語とした、日本語と英語のバイリンガル環境
- 国内外の交流協定校や全国高専からの短期・中期インターンシップ生の宿舎としても活用、国内に居ながら国際生活体験ができる環境を提供。

昨年行った学内コンペの「グローバル対応学生宿舎のアイデア募集」で最優秀賞を受賞した学生作品、『縁 ～ つながり ～』のコンセプトからインスピレーションを得た設計です。人と人の交流を活性化する空間を創造し、日本と世界の文化を体験でき、言葉と文化を超えた交流が促進される学生宿舎とコミュニティ造りを目指します。

- 1ユニット5名が共用リビングでつながり、さらに1フロア2ユニット10名が共用バルコニーでつながって、人と人のつながりを展開。
- 6棟の宿舎全体と共有棟1棟をつなげるコミュニティロジ。
- コミュニティロジを中心として、各棟の2階・3階もつながり、賑わいを盛り上げる。

本件に関する連絡先

担当者 施設課計画推進係 深谷 TEL:0532-44-6533

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

MASTER TECHNOLOGY
CREATE TECHNOLOGY

技術を究め、技術を創る

大学キャンパスにしながら 国際生活を！

日本人と外国人留学生と一緒に生活する
シェアハウス型グローバル学生宿舎を建設

スーパーグローバル大学推進室長
グローバル工学教育推進機構 教授

高 嶋 孝 明



TOP GLOBAL UNIVERSITY PROJECT
スーパーグローバル大学事業（グローバル技術科学アーキテクト）養成キャンパスの創成

TOYOHASHI
UNIVERSITY OF TECHNOLOGY



国立大学法人
豊橋技術科学大学

TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY スーパーグローバル大学（グローバル技術科学アーキテクト）養成キャンパスの創成
CREATIVE CAMPUS FOR NURTURING GLOBAL TECHNOLOGY ARCHITECTS

スーパーグローバル大学プロジェクト キャンパス内学生宿舎の充実とグローバル化



- グローバル技術科学アーキテクト
 - 世界に通用する人間力を養う
 - 多文化共生グローバルキャンパスの実現
- シェアハウス型 学生宿舎
 - 日本人と留学生と一緒に生活
 - 国内にしながら国際生活を体験できる環境
 - ハウスマスターを中心として教育プログラム等を実施
- 学内コンペ最優秀受賞の学生作品『縁～つながり～』
- 民間資金を活用 公募型プロポーザルで建設・管理運用
 - 2016年度 第一期工事完了、2017年4月入居開始、2018年 建設完了

TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY スーパーグローバル大学（グローバル技術科学アーキテクト）養成キャンパスの創成
CREATIVE CAMPUS FOR NURTURING GLOBAL TECHNOLOGY ARCHITECTS

建設予定地



縁～つながり～

-私的な個室と公的な共有空間がつながる-
-日本的な空間と外国的な空間がつながる-

縁側を持つスーパーグローバルシェアハウス「Super Global Sharehouse」は
世界中の人達との縁（つながり）を広げる

グローバル学生宿舍 学内コンペ
最優秀賞 受賞作品

2015.02



メインストリート



完成イメージ



TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY
スーパーグローバル大学（グローバル技術科学アーキテクト）養成キャンパスの創生
CREATIVE CAMPUS FOR NURTURING GLOBAL TECHNOLOGY ARCHITECTS

※ 予想イメージです。完成後とは異なる場合があります。

5



エリアプラン



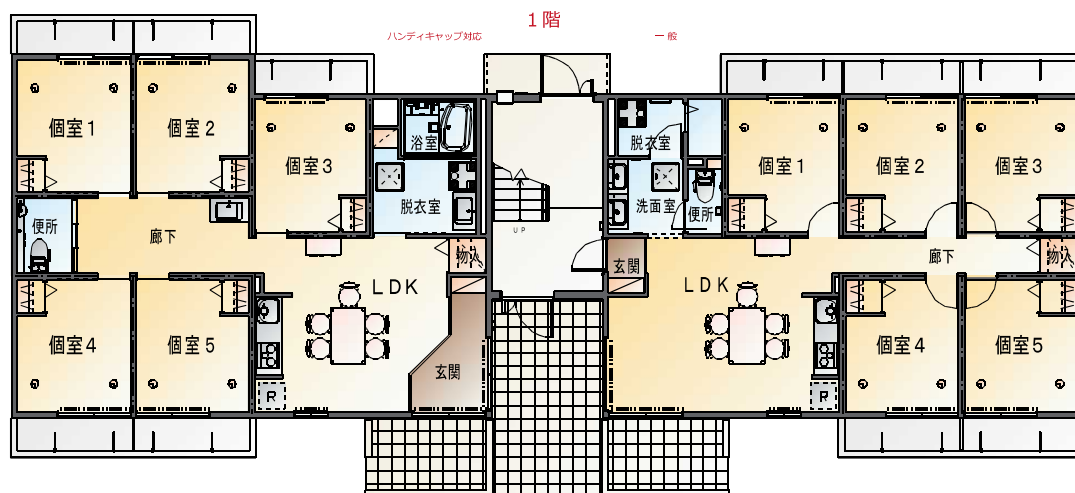
TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY
スーパーグローバル大学（グローバル技術科学アーキテクト）養成キャンパスの創生
CREATIVE CAMPUS FOR NURTURING GLOBAL TECHNOLOGY ARCHITECTS

6



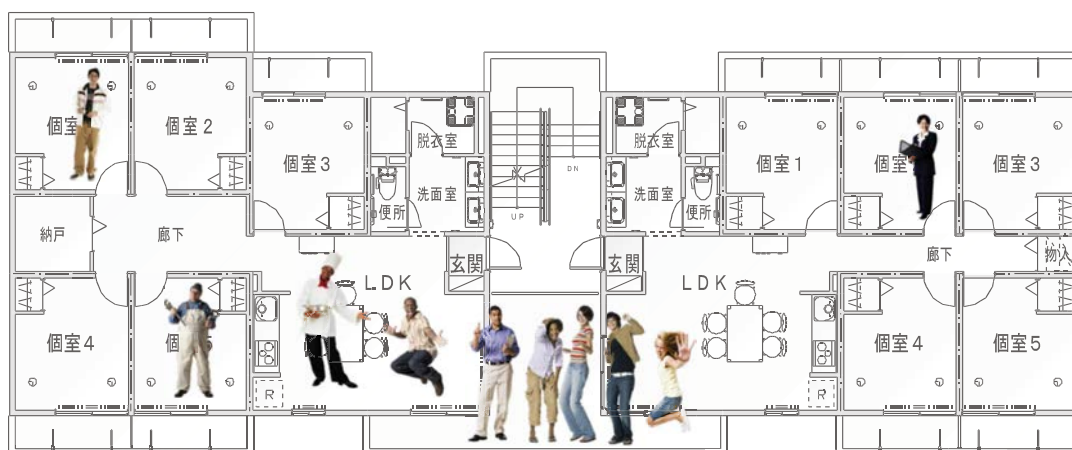


フロアプラン



つながるユニット 多様なライフスタイル

※ 予想イメージです。完成後とは異なる場合があります。



個室はフリープラン



フロア 共用バルコニー



ユニット共用部・LDK

縁 つながり にぎわい



光と風が通る共用バルコニー・階段。「縁」つながる空間

個室	個室	2,400	LDK	共用 バルコニー	LDK	2,400	個室	個室
個室	個室	2,350	LDK	共用 バルコニー	LDK	2,350	個室	個室
個室	個室	2,400	LDK	共用 バルコニー	LDK	2,400	個室	個室



MASTER TECHNOLOGY
CREATE TECHNOLOGY
技術を究め、技術を創る



TOP GLOBAL UNIVERSITY PROJECT
スーパーグローバル大学事業（グローバル技術科学アーキテクト）養成キャンパスの創生
TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY 国立大学法人 豊橋技術科学大学



国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

平成28年4月20日

平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 に本学教員2名が受賞しました

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めております。

この度、平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者が決定し、本学教員2名が受賞しました。

大門裕之教授の研究業績に対し、顕著な功績をあげた者を対象とした科学技術賞（科学技術振興部門）が授与、また、広瀬侑助教の研究業績に対し、高度な研究開発能力を有する若手研究者を対象とした若手科学者賞が授与されました。

<受賞者>

【科学技術賞】（科学技術振興部門）

氏 名：大門裕之（だいもん ひろゆき）

所 属：豊橋技術科学大学グローバル工学教育推進機構 国際交流センター長／教授

業績名：バイオマス利活用を推進する再資源化複合技術の振興

【若手科学者賞】

氏 名：広瀬 侑（ひろせ ゆう）

所 属：豊橋技術科学大学大学院工学研究科 環境・生命工学系 助教

業績名：シアノバクテリアの補色応答の分子生物学的研究

<授賞式>

日 時：平成28年4月20日（水） 12：10～

場 所：文部科学省3階 講堂

（参考）文部科学省 http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/04/1369460.htm

※なお、個別取材も対応しますので、ご要望等ありましたら以下までご連絡ください。

本件に関する連絡先

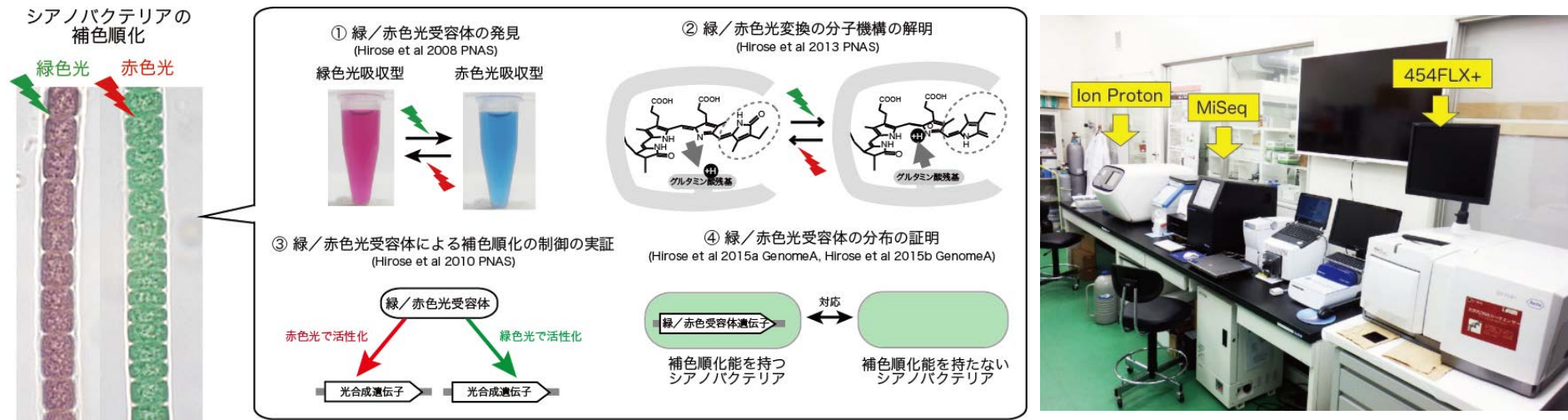
担当：総務課副課長 上田正明 TEL:0532-44-6512

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

国立大学法人
豊橋技術科学大学

「シアノバクテリアの補色応答の分子生物学的研究」

研究の内容: シアノバクテリアの緑・赤色光スイッチの発見と解析



図、研究内容の概要(左)と、研究に使用したエレクトロニクス先端融合研究所の次世代シーケンサー(右)

研究の特徴、従来研究との相違 (1-4の項目は上図①-④に対応)

1. 植物の光スイッチは赤と遠赤色の光を感知するのが常識であったが、シアノバクテリアから**緑と赤色の光を感知する光スイッチを発見**した
 2. **光スイッチが緑と赤色光を感じる分子メカニズムの解明に成功**し、光スイッチの感知する色を改変できる可能性を示した
 3. **光スイッチが遺伝子の働きを調節する仕組みの解明に成功**し、光によって生物の活動を制御する技術の開発への道が開かれた
 4. 最新のゲノム解析装置である「**次世代シーケンサー**」を用いてシアノバクテリアの持つ**多様な光スイッチ**を同定した
- 以上の業績は、補色順化と呼ばれるシアノバクテリアの有名な光スイッチ能力の仕組みを解明した**生物学の教科書に残る成果**である。また、**光を用いた生体の制御(オプトジェネティクス)**や**合成生物学**といった産業的に重要な研究分野の発展に大きく貢献できる。